

## セラミックスによる設備長寿命化ソリューション

セラミックスの加工・接合技術をベースとした商品で、周辺設備を含めた商品の設計・製造・販売に加え、お客様工場での施工・補修対応を実施します。これまで培った28年の実績で蓄積したノウハウを生かし、最適な耐摩耗エンジニアリングを展開しています！！

### 我々のミッション

- ・設備の長寿命化による生産性向上
- ・修繕費削減
- ・省力化

など

### 各種接合技術

- ・ゴム加硫接合
- ・接着剤接合
- ・溶接止め接合
- ・スタッド溶接止め接合

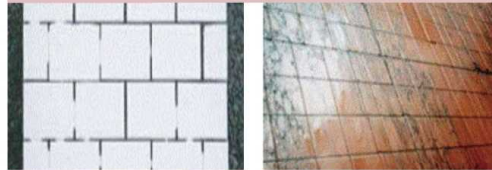
など

## セラミックス適用事例（製品紹介）

### ゴムセラシート



### セラミックスライナー



### セラミック配管（チップ方式）



搬送物による配管の摩耗対策として適用。  
鉄鋼、電力、エンジニアリングメーカー等に納入。

### 摺動ライナー



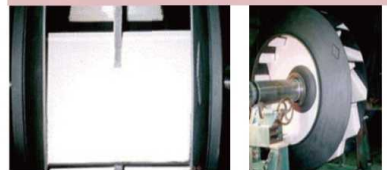
焼結スライドヘッド、エアースリバーの摩耗防止、シール性向上として適用。鉄鋼メーカー等に納入。

### スクリーフィーダー



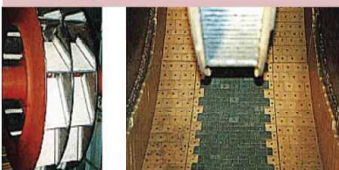
対象物搬送によるスクリーの摩耗対策などに適用。  
鉄鋼、電力、セメント、鋳物メーカー等に納入。

### 集塵ブロワー



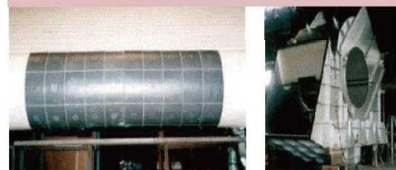
ブロワーインペラーの摩耗対策、省エネ目的などで使用。  
鉄鋼、電気、セメント、電炉メーカー等に納入。

### 耐熱ブロワー



中・高温域で使用するブロワーの摩耗対策、省エネ目的で適用。  
鉄鋼、電力メーカー、セメントメーカーに納入。

### 集塵ブロワーケーシング



ブロワーケーシングの摩耗対策、省エネなどで適用。  
鉄鋼、電力メーカー等に納入。

## 表面処理事業部新部門紹介



## ファインセラミックス工場 ファインセラミックス営業・管理室

『鉄鋼事業における No.1 耐摩耗ソリューションベンダーを目指して』

私たちは、平成26年9月1日に、ニッテツ八幡エンジニアリング株式会社から、当社へ事業譲渡され、新たに、表面処理事業部の一員となったグループです。

我々の事業は、昭和61年に、旧新日本製鐵（株）の新素材事業として発足以来、セラミックスを中心とした新素材をメインに、鉄鋼事業を主としたお客様の整備費圧縮、設備の長寿命化による生産性向上を狙いとして、これまで事業活動を続けてまいりました。今後も、我々の事業が、このミッションを狙いとし、さらに発展させるということは変わりありません。

それに加え、我々が保有するセラミックス接合技術と、表面処理事

業部の溶射技術や当社グループである八幡ゴム工業の工業用ゴム技術、ならびに吉川機械工業の母材補修技術、クロムメッキ技術を融合・ハイブリッド化させることで、お客様のご要望に応じた最適な耐摩耗技術を、最適な価格で、ワンストップで提供可能なグループとなり、鉄鋼事業におけるナンバーワンの耐摩耗ソリューションベンダーを目指していくことが、我々の使命と考えます。

今後は、当社の表面処理事業部を牽引し、さらなる事業の発展を図りたいと思っておりますので、皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



肉盛技術とセラミックスライニングのハイブリッド商品適用例

## 会社概要

所在地	福岡県北九州市戸畑区大字中原 46-59
●事務所	TEL 093-872-5831 FAX 093-872-5836
●加工場	TEL 093-872-5828 FAX 093-872-5826
事業内容	ファインセラミックス等の新素材を活用した機械装置の設計・開発・製造および付帯サービス
従業員数	17名（平成26年9月1日 現在）
当事業の経緯	昭和61年 本社新素材事業として堺・八幡を拠点に発足 平成3年 本社から箇所事業に移管 堺製鐵所にCPCセンター、八幡製鐵所にJETセンター発足 平成9年 箇所事業から機能分社会社へ移管 CPCセンターはニッテツ大阪エンジニアリング、JETセンターはニッテツ八幡エンジニアリングに事業移管 平成18年 ニッテツ大阪エンジニアリング解散に伴い、ニッテツ八幡エンジニアリングに事業移管され、ファインセラミックス Gr. 発足 平成26年 当社へ事業譲渡

## 部長就任あいさつ

平成26年9月1日に、表面処理事業部部长（ファインセラミックス統括）を拝命した芝本です。

この事業は、新素材事業として発足して以来、28年の事業実績を積み重ね、新日鐵住金株式会社においては、一定のプレゼンスを確保できたのではないかと考えています。

しかし、日本の人口減少、さらには、それに伴う産業構造の変化、またグローバル化の潮流が押し寄せる中、従前の考え方や仕事の仕方をやみくもに踏襲するだけでは、この事業に厳しい現実が突きつけられることは間違いないと思います。とは言うものの、この混迷する時代の先を読み、時代を先取りすることができれば、必ずやさらなる事業の拡大・飛躍が可能だと確信しています。まさに、この時代の瀬目を読むことこそが、私が会社で果たすべき責務だと認識しています。

私は、まだまだ若輩者で、至らぬところもございますが、この事業で最善を尽くし、当社の大きな柱となるよう社業発展に鋭意努力する所存です。今後とも、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りたいと思っておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

表面処理事業部部长  
（ファインセラミックス統括）

芝本 茂

